

【講義 5】 蔵書印について

—印文の読み方・調べ方—

松永 瑠成

一、はじめに

蔵書印をはじめとする、書籍に押捺された印の判読は、書誌情報を作成する上で時として大きな障壁となり得る。本講義では、印記情報として採録すべき印やそれらの印が捺される場所を確認した後、印文を判読するための方法、特に篆書体の字形学習やWebサイトなどを駆使した印文の読み方・調べ方について講述していく。なお、本講義は国文学研究資料館編『本 かたちと文化 古典籍・近代文献の見方・楽しみ方』（勉誠社、2024年）所収の拙稿「印 本に捺されたハンコは何を伝えているのか」と内容的に重複する部分があるがご宥恕願いたい。

二、どの印を印記情報として採録すべきか

古典籍を含む書籍には、さまざまな印が捺されている。そのなかで印記情報として採録すべきなのは、書籍が刊行・成立した後に捺された印である。したがって、魁星印や蔵版印など書籍の刊行・成立時に捺されるものは原則対象としない。

印記情報として採録する印のうち、代表的なのは蔵書印・貸本印・仕入印である。書籍の来歴・伝来などを知る上で重要な蔵書印以外の印は、あまり馴染みがないかもしれない。しかしながら、ほかの2つの印も1つの情報源として無視することはできない。たとえば、貸本に供される書籍へ捺された貸本印は、貸本屋の名称や所在地のほか、その蔵書内容を知るための手掛かりとなり得る。また、本屋が書籍を仕入れた際に捺す仕入印は、書籍の流通を知る上で貴重な情報源とされている。

印記情報に採録されなければ、本来そこにあるはずの印が、データ上はなかったことになってしまう。たとえ印文を判読できなかったとしても、そこに印がある、という情報は記録しておく必要がある（例：「○○○○」ほか、黒印2顆ありなど）。

三、書籍に捺された印を探す

書籍に捺された印を印記情報として採録するには、まず印を探し出さなければならない。書籍には、印がよく捺される場所がある。題簽・見返し・冊首・巻首・冊尾・後ろ見返しなどは、その代表的な場所である。そのほか、稀に天や小口へも印は捺されることがある。調査にあまり時間を割けない状況であれば、これらの場所を重点的に探した方がよいだろう。だが、ほかの場所へも印が押捺されている可能性は当然あ

る。したがって、より正確に印記情報を採録するためには、天や小口を確認した後、表紙から後ろ表紙に至るまで、1丁1丁めくって印の有無を確かめていかなければならない。

四、印文を読む・調べる

印文を読む・調べるための方法として、拙稿「印 本に捺されたハンコは何を伝えているのか」(『本 かたちと文化』)では、以下のA~Gをあげている。

A. 頻出する字の篆書体を覚える

篆書体の印、とりわけ蔵書印の印文には、頻出する字がいくつかある。たとえば「書」は、「○○蔵書」「○○図書」「○○書記」のような印文でたびたび用いられている。そのほか「蔵」「印」「図」「記」「之」、号に用いられる「齋」「軒」「庵」「堂」などもよくみられる。これら頻出する字の篆書体を覚える上で、参考になるのが堀川貴司氏原案・益満新吾氏増補および書「篆書の例」(【資料1】)と、その増補版である益満新吾氏監修「難読篆書字形表」(【資料2】)の2つである。【資料1】【資料2】は、ともに「難読字と頻出字」と「主な部首」から構成され、とりわけ前者が頻出する字の篆書体を覚える上で役立つ。それぞれ頻出字とその篆書体が数例挙げられており、これらの一覧と印文を照らし合わせることで、判読できるようになる蔵書印も少なくないだろう。なお、【資料1】【資料2】は、国文学研究資料館学術情報リポジトリ上で公開されている「篆字部首検索システム」(<http://id.nii.ac.jp/1283/00004720/>)のなかに、「tensho.pdf」(【資料1】)、「tensho2.pdf」(【資料2】)として収められている。

B. 部首の篆書体を覚える

頻出する字以外を判読する際、手掛かりとなるのは部首である。たとえ字そのものを判読できなくとも、部首さえわかれば太甫熙永編『篆書字典』(国書刊行会、1978年)や蓑毛政雄著『新装版 必携篆書印譜字典』(柏書房、2022年。旧版は1991年)などの字典類を用いて調べられるようになる。印文の字と字典類の用例を見比べ、1つずつ確認していく作業を繰り返すなかで、篆書体を少しずつ覚えていくことができる。部首の篆書体を一通り覚えられるようになるまでは、先の【資料1】【資料2】(「主な部首」)が参考になる。

C. 漢字を構成する部品から調べる

たとえ判読できなくとも、その漢字を構成する部品がわかれば、字を特定できる可

能性は一層高まる。たとえば、「恕」という漢字は部首「心」と「如」からなるが、さらに分けると「心」「女」「口」の3つの部品へと分解できる。したがって、「恕」という字を判読できなくとも、「女」「口」「心」の部品がわかれば、その組み合わせで「恕」へと行き着くことができるのである。あとは字典類によって、その字の篆書体を調べればよい。漢字を構成する部品から字を特定する際には、人文情報学研究所「篆字部首検索システム」(<https://seal.dhii.jp/char/>)や「CHISE IDS 漢字検索」(<https://www.chise.org/ids-find>)、「字源 — jigen.net —」(<https://jigen.net>)、などのWebサイトが役立つ。とりわけ「篆字部首検索システム」は、部品から字を特定できるだけでなく、あわせて篆書体の用例まで調べられるので有用である。

D. 蔵書印譜を活用する

著名な人物・機関などが使用していた蔵書印であれば、蔵書印譜に採録されている可能性がある。その場合、索引から印文を調べることができる。たとえば、渡辺守邦・島原泰雄編『蔵書印提要』（青裳堂書店、1985年）や渡辺守邦・後藤憲二編『増訂新編蔵書印譜』下巻（青裳堂書店、2014年）、中野三敏・後藤憲二編『近代蔵書印譜』6編（青裳堂書店、2020年）などは、索引から印文を検索できる上、その印の使用者（印主）をも調べられる。なお、『増訂新編蔵書印譜』下巻や補巻には、印の1字目だけでなく、2字目からも検索できる「第二字印文索引」が備わっている。

E. 大学図書館等が作成した印記情報を参考にする

大学図書館をはじめとする機関が作成した印記情報は、時として印文判読の際に参考となる。たとえば、CiNii Books (<https://ci.nii.ac.jp/books/>)は、「詳細検索」の「注記」に判読できた字を入力（例：「○○ ○○」など）して検索すると、「印記」「蔵書印」「蔵書印記」などに採録された、調べている印と同じ印文（例：「○○△○○」）が、検索結果に含まれていることがある。そうして知り得た印文をもとに、字典類を活用すれば印文を判読できる。これは部分的に読めない箇所を含む印文を調べる際にも有効である。

CiNii Books 以外であれば、早稲田大学図書館「古典籍総合データベース」(<https://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/>)などは、印記情報だけでなく、印が捺された書籍の画像も公開しているため、調べている印との比較が容易にできる。ただし、いずれの場合も印記情報が読み間違えられている可能性も考慮しなければならない。

F. 国文学研究資料館学術情報リポジトリの「蔵書印データベース」「篆字部首検索システム」を活用する

国文学研究資料館「蔵書印データベース」は、2023年3月に公開が停止され、現在は一部のデータが国文学研究資料館学術情報リポジトリ上で公開されている。公開されているのは、国文学研究資料館が所蔵する資料をもとに作成された、レコードのCSVファイル (<http://id.nii.ac.jp/1283/00004650/>) と「篆字部首検索システム」 (<http://id.nii.ac.jp/1283/00004720/>) である。

CSVファイル(「蔵書印 DB_典拠国文研のみ.csv」)は、「蔵書印データベース」のフィールド(「レコード ID」「蔵書印 ID」「蔵書印文」「蔵書印文別表記」「サイズ(縦×横)」「サイズ(縦×横)」「色」「色」「陰陽」「陰陽」「形状」「形状」「印影外郭」「印影外郭_1」「印影外郭_2」「印影外郭」「印文文字数」「印文出現位置」「印文行数」「印文行数_1」「印文行数_2」「印文行数」「印文改行表記」「書体」「人物 ID」「蔵書印主」「蔵書印主よみ」「職種 1」「職種 2」「時代」「印主職種/時代」「人物情報」「典籍 ID」「書名」「書名よみ」「人名 ID」「著者」「刊記」「所蔵先」「請求記号」「典拠資料」「典拠画像 URL」「備考」「画像有無」「画像」「画像全面」)を書き出したものである。このうち、「画像」「画像全面」にはそれぞれ印の画像と印が押捺された箇所画像へのリンクがあるものの、「蔵書印データベース」の公開停止に伴い、現在はアクセスできない状態となっている。扱いやすいデータとはいえないものの、印文や印主を調べる際には役立つこともあるだろう。なお、「蔵書印データベース」上で公開されていたレコードの大半は、後述する人文情報学研究所「蔵書印ツールコレクション」に引き継がれ、現在公開されている。

「篆字部首検索システム」は、「蔵書印データベース」の姉妹サイトとして公開されていた「篆字部首検索システム(テキスト検索版)」であり、単漢字あるいは漢字構造(漢字を構成する部品)から篆書体を調べることができる。リポジトリのデータには、「篆字部首検索システム(テキスト検索版)」の web ページおよびソースコードが含まれており、かつて公開されていた時と同じ形のものを使用できるようになっている。なお、こちらも先の「蔵書印データベース」同様、後述する人文情報学研究所「蔵書印ツールコレクション」に引き継がれ、現在も公開されている。

G. 人文情報学研究所「蔵書印ツールコレクション」を活用する

前述のとおり、国文学研究資料館「蔵書印データベース」および「篆字部首検索システム(テキスト検索版)」は現在、人文情報学研究所「蔵書印ツールコレクション」(<https://seal.dhii.jp/>)に引き継がれており、それぞれ前者が「蔵書印データベー

ス検索システム」(<https://seal.dhii.jp/sealdb/>)、後者が「篆字部首検索システム」(<https://seal.dhii.jp/char/>)として公開されている。また、「蔵書印ツールコレクション」では、「篆字画像検索システム(AI 篆字認識)」(<https://seal.dhii.jp/image/>)が新たに実装されている。

「篆字画像検索システム (AI 篆字認識)」では、印の画像から篆字 1 字を範囲選択し、解析することができる。解析結果では、第 1 候補から第 5 候補までの字が確率とともに示される。また、候補とされる字の用例を「蔵書印データベース検索システム」や「篆字部首検索システム」でさらに検索することも可能である。印がかすれていて鮮明でない、あるいはほかの文字(本文のほか匡郭も)が印文と重なっている場合などは、紙に書き写した印文を撮影した画像で解析させるとよい。

利用上注意すべきなのは、認識結果に示される字はあくまで候補であり、必ずしも正しいものとは限らないという点である。そのため、第 5 候補までの認識結果だけでなく、それぞれの字の篆書体もあわせて確認することを推奨したい。「篆字画像検索システム (AI 篆字認識)」の詳しい使用方法については、「画像検索の使い方」(<https://seal.dhii.jp/help/image/>)を参照されたい。

【練習問題】 ※画像はいずれも人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より



練習問題 ①



練習問題 ②



練習問題 ③



練習問題 ④



練習問題 ⑤

参考文献

【単行本】

国文学研究資料館編『本 かたちと文化 古典籍・近代文献の見方・楽しみ方』（勉誠社、2024年）

【字典・印譜など】

太甫熙永編『篆書字典』（国書刊行会、1978年）

蓑毛政雄著『新装版 必携篆書印譜字典』（柏書房、2022年。旧版は1991年）

渡辺守邦・島原泰雄編『蔵書印提要』（青裳堂書店、1985年）

中野三敏・後藤憲二（5～6編）編『近代蔵書印譜』初～6編

（青裳堂書店、1984～2020年）

渡辺守邦・後藤憲二編『増訂新編蔵書印譜』（青裳堂書店、2013～2023年）

【Webサイトなど】

国文学研究資料館「蔵書印データベース」(<http://id.nii.ac.jp/1283/00004650/>)

国文学研究資料館「篆字部首検索システム」(<http://id.nii.ac.jp/1283/00004720/>)

九州大学附属図書館九大コレクション「蔵書印画像」

(https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_browse/seals/?lang=0)



人文情報学研究所

「蔵書印ツールコレクション」

(<https://seal.dhii.jp/>)



「CHISE IDS 漢字検索」

(<https://www.chise.org/ids-find>)



「字源 — jigen.net —」

(<https://jigen.net/kanji/>)

篆書の例 — 蔵書印に見える頻出字と難読字 —

書	書	書	書	書	書	中	中	中	中	中
図(圖)	圖*	圖	圖	圖	圖	以	以	以	以	以
蔵(藏)	藏	藏	藏	藏		其	其	其	其	其
印	印	印	印	印		平	平	平	平	
記	記	記	記			主	主			
之	之	之	之	之		唐	唐			
斎(齋)	齋*	齋*	齋	齋	齋	卷	卷			
軒	軒	軒				曲	曲	曲		
庵(菴)	庵	庵	庵*	庵*	庵	道	道			
堂	堂	堂	堂	堂		台(臺)	台	台	台	
氏	氏	氏	氏	氏	氏	無	無	無	無*	无字通用*
字	字	字				壽(壽)	壽			
父	父	父				史	史			
日	日					千	千			
山	山	山	山	山		公	公	公	公	公
香	香	香	香*	香*	香	者	者	者	者	者
雲	雲	雲	雲	雲	雲	鳥	鳥			

※ 楷書体から類推しにくい字体を中心に取り上げた。

※ 本資料の一部はJSPS科研費 JP18H05304 (研究課題: 蔵書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発) の助成を受けたものです。

イ				扌				月			
儿				戈				月(肉)			
シ				女				舟			
リ				方				虫			
カ				至				衣			
勺				欠				西(西)			
口				牛				言			
大				禾				赤			
大				夂				走			
女				皿				辵			
子				穴				邑(邑)			
寸				竹							
彳				艹(艹)				金			
心				糸				隹			
卜				羊				音			
シ				耳				食			
彡				良				首			

※ 基本の部首を中心に取上げた。

※ 本資料の一部はJSPS科研費 JP18H05304 (研究課題: 蔵書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発) の助成を受けたものです。

藏 <small>(藏)</small>						小篆 (以下同)	中					
							以					
書							其					
							平					
印							主					
圖 <small>(圖)</small>							唐					
							卷					
之							曲					
記							道					
齋 <small>(齋)</small>							壽 <small>(壽)</small>					
軒							無					
庵 <small>菴</small>						盒字 假借	台 <small>(臺)</small>					
堂							史					
氏							千					
字							公					
父							山					
者							居					
香						皂字 通用						

※ 楷書体から類推しにくい字体を中心に取上げた。部首を一部含む。

※ 本資料はJSPS科研費 JP18H05304 / JP20K20325 (研究課題：蔵書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発) の助成を受けたものです。

雲						鳥							
						島					陽字通用		
華						在							
天						日							
夫						神							
而						得							
士						出							
正						友							
田						君							
世						春							
矢						来							
長						用							
早						法							
甲						深					突字通用		
徳						此							
叟						重							
真						兆							

※ 楷書体から類推しにくい字体を中心に取り上げた。部首を一部含む。

※ 本資料はJSPS科研費 JP18H05304 / JP20K20325 (研究課題：篆書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発) の助成を受けたものです。

亻				扌				月				
刀				戈				月(肉)				
				女				舟				
斤				方				虫				
				豸				良				
力				欠				良				
冂				牛				彡(水)				
大				禾				亼				
井(収)				廾				冂(卓)				
女				皿								
子				穴				冂(邑)				
寸				竹								
彳				艹(艹)				金				
心				糸				隹				
亼				耳				走				
灬(火)				衣				辵				
赤				西				互				

※ 基本の部首を中心に取上げた。

※ 本資料はJSPS科研費 JP18H05304 / JP20K20325 (研究課題：蔵書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発) の助成を受けたものです。

第22回日本古典籍講習会（2024年度）

【講義5】 蔵書印について —印文の読み方・調べ方—

松永 瑠成

どの印を印記情報として採録すべきか

基本的には、書籍が刊行・制作された後、捺された印を印記情報として採録

蔵書印

- 旧蔵者の情報
- 旧蔵者の蔵書内容
- 書籍の伝来

仕入印

- 本屋から本屋への書籍の流通

貸本印

- 貸本屋の名称・所在地
- 貸本屋の蔵書内容
- 本屋から貸本屋、あるいは貸本屋から貸本屋への書籍の流通

書籍に捺された印を探す

蔵書印・貸本印

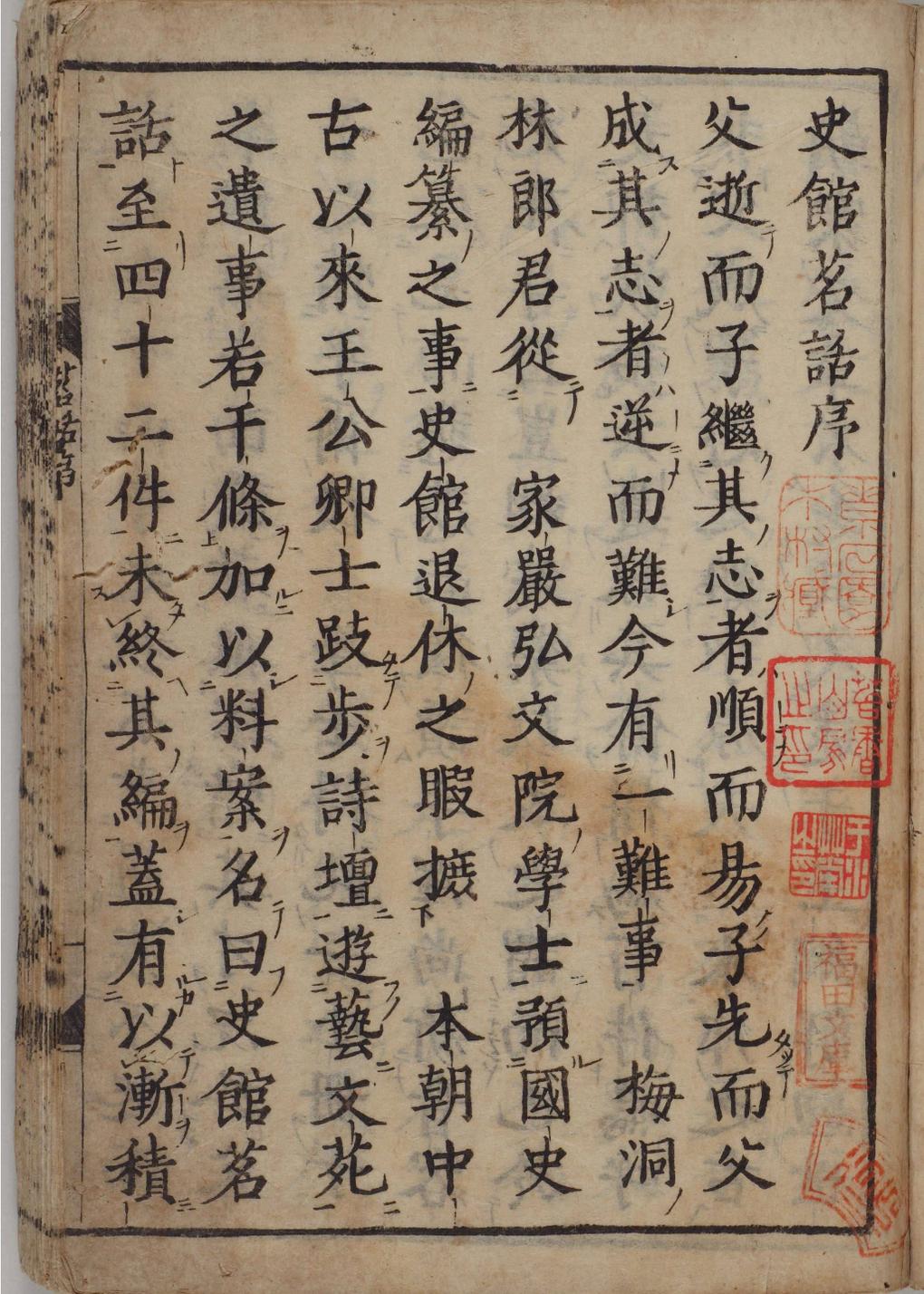
- 冊首・巻首・表紙・題簽・見返し・本文・巻末・冊尾・後ろ見返し・小口 など

仕入印

- 見返し・後ろ見返しの裏など

天や小口→表紙～後ろ表紙を確認

(右) 国文学研究資料館蔵『史館名話』(DOI:10.20730/200019122) より



印文を読む・調べる

松永瑠成「印 本に捺されたハンコは何を伝えているのか」（『本かたちと文化』所収）

- A. 頻出する字の篆書体を覚える
- B. 部首の篆書体を覚える
- C. 漢字を構成する部品から調べる
- D. 蔵書印譜を活用する
- E. 大学図書館等が作成した書誌を参照する
- F. 国文学研究資料館学術情報リポジトリの「蔵書印データベース」「篆字部首検索システム」を活用する
- G. 人文情報学研究所の「蔵書印ツールコレクション」を活用する

A. 頻出する字の篆書体を覚える

【資料1】 堀川貴司氏原案・益満新吾氏増補および書「篆書の例」

【資料2】 益満新吾氏監修「難読篆書字形表」

- 国文学研究資料館学術情報リポジトリ上で公開されている「[篆字部首検索システム](#)」において、それぞれ「tensho.pdf」（【資料1】）、「tensho2.pdf」（【資料2】）として収められている



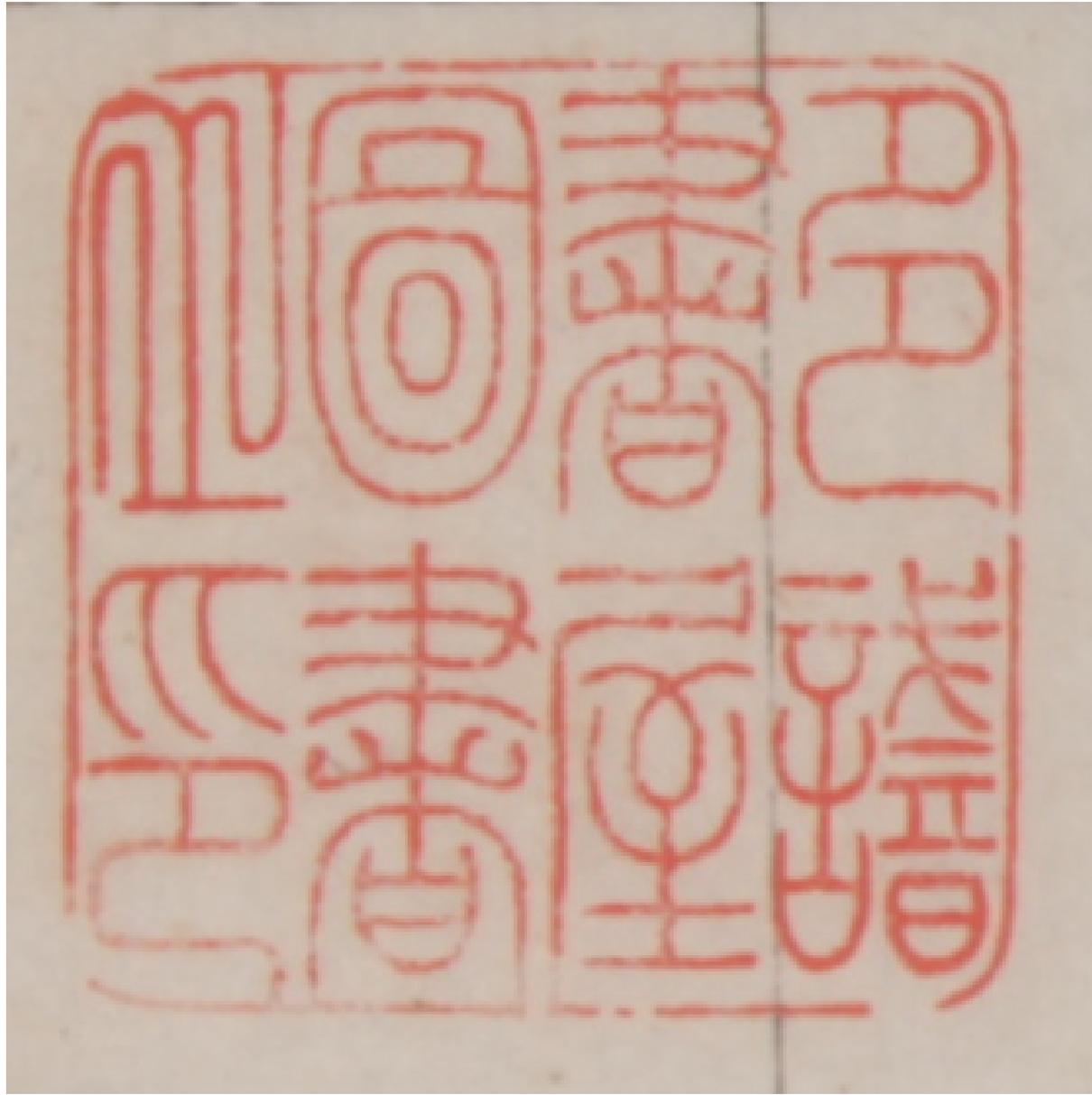
(右) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より



練習問題①

??? 多

??? 識



(右) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より

B. 部首の篆書体を覚える

【資料1】 堀川貴司氏原案・益満新吾氏増補および書「主な部首」

【資料2】 益満新吾氏監修「主な部首」



→ 部首を特定した後、字典類のほか、後述する人文情報学研究所の「篆字部首検索システム」を用いて、篆書の用例を調べていく

(右) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より



篆字部首検索システム

漢字（一文字）・漢字構造

UCS符号	文字	漢字構造	六書	康熙部首	『漢篆千字文』	『偏類六書通』	蔵書印DB
U+079BE	禾	禾	象形	禾			

[偏類六書通\(9\)](#)
[金石韻府\(6\)](#)
[摭古遺文\(6\)](#)
[汗簡\(2\)](#)
[韻府古篆彙選\(3\)](#)
[聯珠篆文\(2\)](#)
[すべて\(28\)](#)

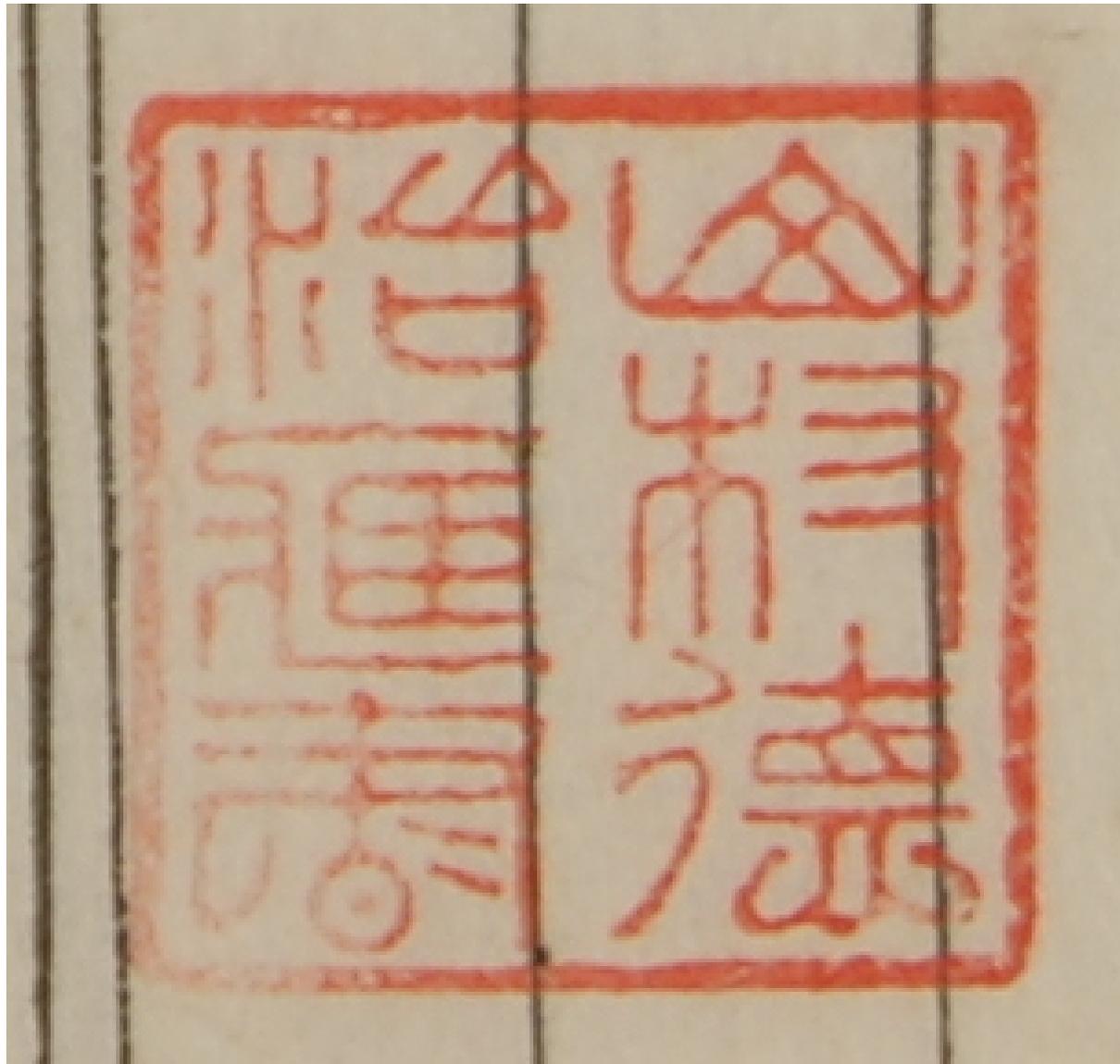
偏類六書通

検索要素を含む文字

UCS符号	文字	漢字構造	六書	康熙部首	『漢篆千字文』	『偏類六書通』	蔵書印DB
U+07A4C	𪛑	魚禾	魚聲	禾			
U+07A6E	𪛒	禾鹿	鹿聲	禾			
U+07A62	𪛓	禾歲	歲聲	禾			
U+07A61	𪛔	禾嗇	嗇聲	禾			
U+07A5F	𪛕	禾遂	遂聲	禾			

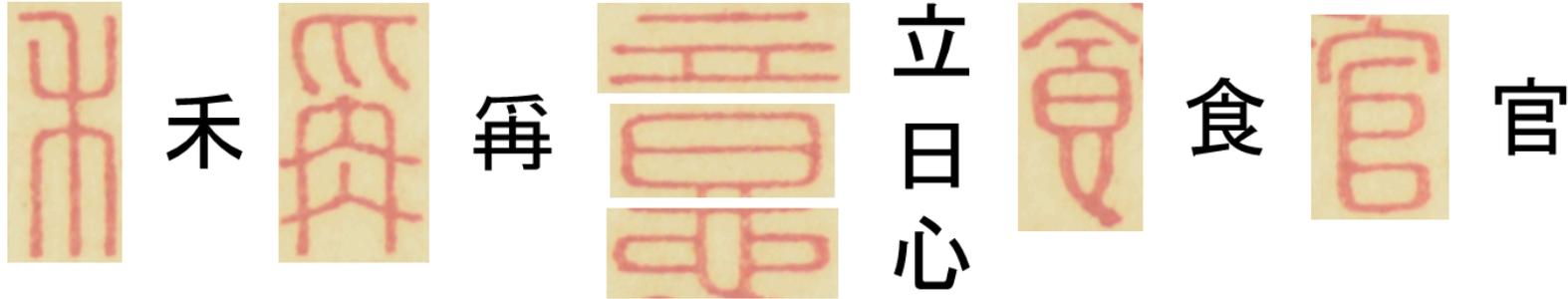
練習問題②

？ 山
蔵 村
書 ？



(右) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より

C. 漢字を構成する部品から調べる



→ 漢字を部品に分解してみる

人文情報学研究所「篆字部首検索システム」

(<https://seal.dhii.jp/char/>)

「CHISE IDS 漢字検索」 (<https://www.chise.org/ids-find>)

「字源 — jigen.net —」 (<https://jigen.net/>)



(右) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より

CHISE IDS 漢字検索

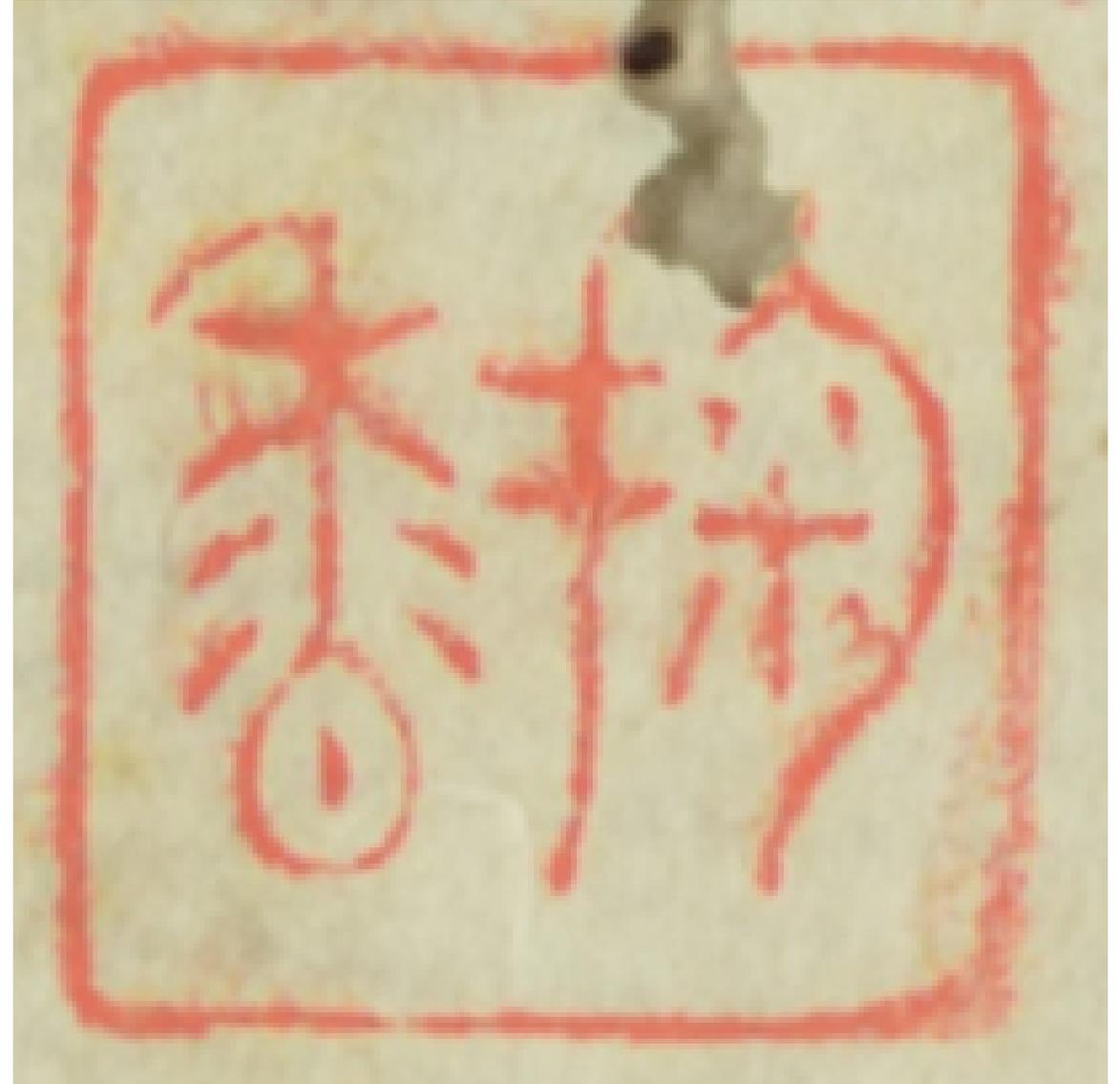
Version 0.100.2 (Last-modified: 2024-05-08 12:28:09)

部品文字列 禾再

検索開始

- ・ 稱 (稱) U+7A31 (link map) 𠂇 禾再 (𠂇禾再) ⇒[唐代拓本]
 - 稱 (稱) U+455D (link map) 𠂇 𠂇 稱 (𠂇 𠂇 稱)
 - 稱 (稱) U-00021695 (link map) 𠂇 稱大 (𠂇 稱大)
- ・ 稱 U+7A31 (link map) 𠂇 禾再 (𠂇禾再) ⇒[唐代拓本]
- ・ 稱 U+455D (link map) 𠂇 𠂇 稱 (𠂇 𠂇 稱)
- ・ 稱 U+7A31 (link map) 𠂇 禾再 (𠂇禾再) ⇒[唐代拓本]
- ・ 稱 (𠂇) U-0002F9AE (link map) 𠂇 𠂇 稱 (𠂇 𠂇 稱)
- ・ 稱 U+7A31 (link map) 𠂇 禾再 (𠂇禾再) ⇒[唐代拓本]
- ・ 稱 U+7A31 (link map) 𠂇 禾再 (𠂇禾再) ⇒[唐代拓本]
- ・ 稱 U+7A31 (link map) 𠂇 禾再 (𠂇禾再) ⇒[唐代拓本]
- ・ 稱 U+7A31 (link map) 𠂇 禾再 (𠂇禾再) ⇒[唐代拓本]
- ・ 稱 U+455D (link map) 𠂇 𠂇 𠂇 禾再 (𠂇 𠂇 𠂇 禾再) ⇒[CDP-85ED;]

香 ?



(右) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より

D. 蔵書印譜を活用する

渡辺守邦・島原泰雄編『蔵書印提要』

(青裳堂書店、1985年)

中野三敏・後藤憲二編『近代蔵書印譜』

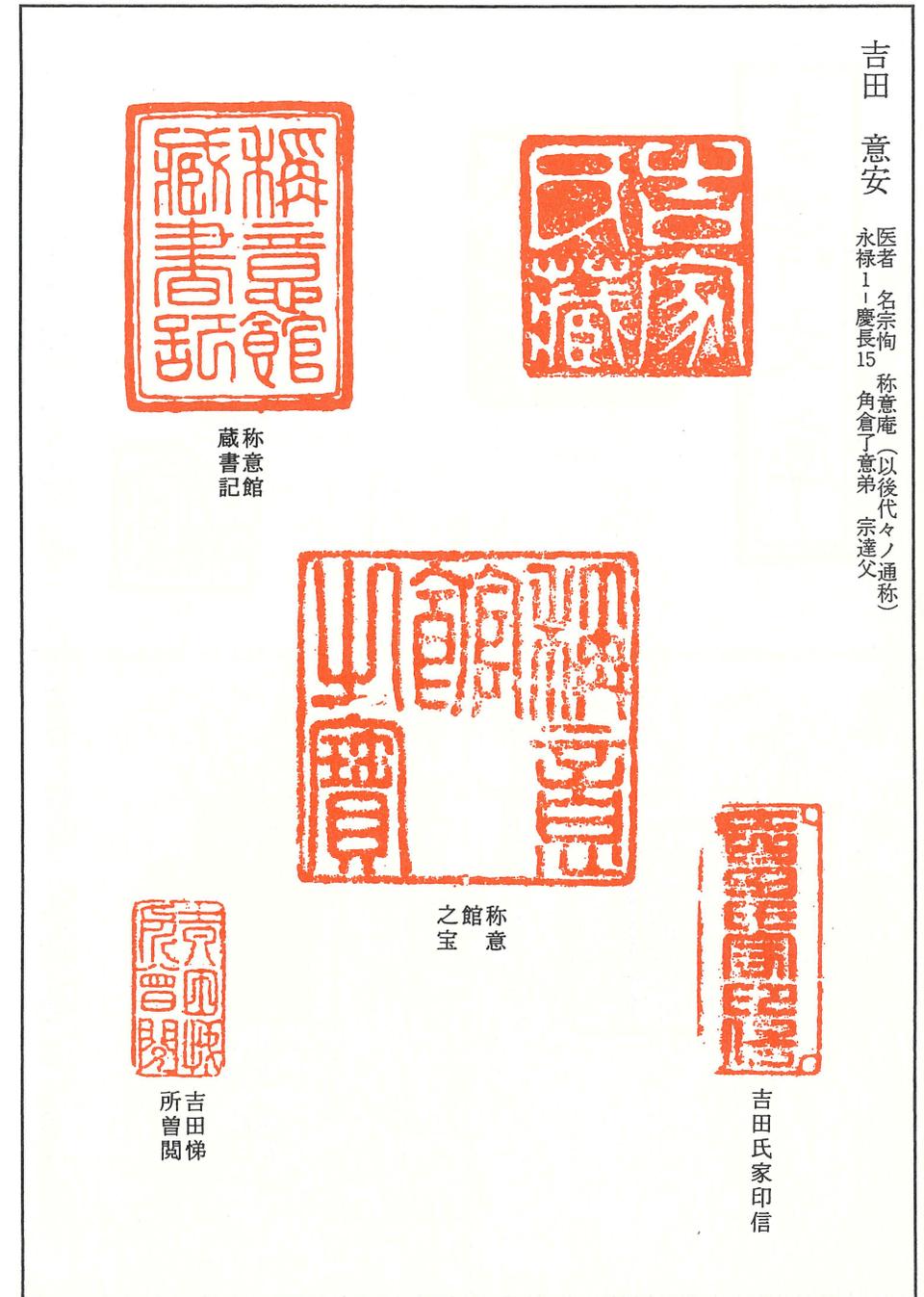
(青裳堂書店、1984～2020年)

渡辺守邦・後藤憲二編『増訂新編蔵書印譜』

(青裳堂書店、2013～2023年) など

→ 印文の1文字目あるいは2文字目から索引を引く

(右) 『増訂新編蔵書印譜』中巻より



E. 大学図書館等が作成した書誌を参照する

CiNii Books (<https://ci.nii.ac.jp/books/>)

そのほか各機関のOPACなど

早稲田大学図書館「古典籍総合データベース」
(<https://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/>)

→ 「印記」などに記載された情報を参照

→ 部分的に印文を読めた場合に有効

(右) 九州大学附属図書館OPACより

<図書>

橋柱抄

キョウチュウショウ

データ種別 図書

出版者 [書写地不明]: [書写者不明]

出版年 [書写年不明]

本文言語 日本語

大きさ [27]丁 ; 27.2×15.7cm

所蔵情報

状態	巻次	所蔵場所	請求記号	刷年	文庫名称	資料番号	コメント	予約・取寄	複写申込
		中央図 [閉架]準貴重書室 40 [秋野文庫]	秋野文庫/ キ/70		秋野文庫	068031480834342			

書誌詳細

一般注記 和漢古書につき記述対象資料毎に書誌作成
写本
外題左肩墨書: 橋柱抄
タイトルは外題による
平仮名交じり文
和装本, 帙入り
印記あり: 「吉家氏藏」, 「稱意館蔵書記」

書誌ID 1001302884

NCID BA77396746

資料種別 文字資料 (書写資料)

登録日 2009.09.18

更新日 2009.09.18

【参考】部分的に読めない箇所を含む印文を調べる

墨で塗りつぶされていたり、擦り消されてしまっている印

→ 判読できる部分から残りの文字を調べる

1. 各種DBやCiNii Booksなどで、判読できた印文を検索してみる
2. 印の画像を確認できない場合、ほかのDBやwebサイト等で画像を確認



(右) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より

CiNii Books

大学図書館の
本をさがす

Books

図書・雑誌検索

著者検索

内容検索

フリーワード

検索

すべての資料

図書

雑誌

閉じる

タイトル

 タイトル完全一致 統一タイトルを含む

著者名

 別名を含む

著者ID

統一タイトルID

出版者

ISBN

ISSN

NCID

件名

分類

注記

子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥

資料種別

すべての資料種別

言語種別

すべての言語

コード

出版年

年から

年まで

図書館ID

機関ID

地域

すべての地域

 図書館ID・機関ID・地域を記憶する ローマ字をカナに変換

検索結果： 16件中 1-16 を表示

すべて選択：

-  **芳禮綿助手柄談** 1
振鷲亭のあるじ [作]
[出版者不明] [江戸後期]
所蔵館1館
-  **冠辭考 10巻** 2
賀茂真淵 [著]
須原屋平左衛門 寛曆7 [1757] 跋
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
所蔵館1館
-  **兼濟堂纂刻梅勿菴先生曆算全書** 3
(清) 梅文鼎著；(清) 魏荔彤輯；(清) 楊作枚訂補
[出版者不明] 乾隆14 [1749] 跋
第1, 2, 3上, 3下, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26
所蔵館1館
-  **八線表** 4
(明)徐光啓奉勅撰
[書写者不明] [書写年不明]
文字資料 (書写資料)
所蔵館1館
-  **和漢算法問答記 3巻** 5

関連著者

-  振鷲亭
-  賀茂, 真淵
-  梅, 文鼎
-  魏, 荔彤
-  徐, 光啓 (明)
-  関, 孝和
-  中根, 彦循
-  内藤, 政樹
-  松永, 良弼
-  山路, 主住

芳禮綿助手柄談

振鷺亭
シンロテイ

書誌事項

芳禮綿助手柄談

振鷺亭のあるじ [作]

[出版者不明], [江戸後期]

タイトル読み ホウレイ ワタスケ テガラバナシ

大学図書館所蔵 1件 / 全1件

すべての地域

すべての図書館

OPACリンクあり

天理大学 附属天理図書館 本館
913.65||387

OPAC

この図書・雑誌をさがす

Webcat Plus Webcat Plus

NDL Search 国立国会図書館サーチ

WorldCat WorldCat

注記

和漢古書につき記述対象資料毎に書誌レコード作成

巻頭「芳禮綿助手柄談」(右傍に「ほうれいわたすけてからはなし」と振り仮名あり)

題簽左肩墨書「[上部破損] はなし」(題簽剥落跡)

作者は自序末の「振鷺亭のあるじ歿後/燈前に毫を沾す」より

口絵: 見開1図, 半丁1図

版式: 四周単辺9行

印記「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥 本織 [黒印]」

ツイート

0

いいね!

詳細情報

NII書誌ID(NCID):
BB22319980

出版国コード:
xx

タイトル言語コード:
jpn

本文言語コード:
jpn

出版地:
[出版地不明]

ページ数/冊数:
口ノ4, 33丁

大きさ:
17.5×12.5cm

分類:
NDC9 : 913.56

書き出し

RefWorksに書き出し

EndNoteに書き出し

Mendeleyに書き出し

Refer/BibIXで表示

RISで表示

BibTeXで表示

TSVで表示

ISBDで表示

蔵書印データベース検索システム

ヘルプ

蔵書印文

蔵書印主

備考等

形状

印影外郭

書体

印文行数

所蔵先

5 件中 1-5 件を表示 (全件数: 44,949 件)

10

画像	蔵書印文	蔵書印主	色	陰陽	形状	書名	所蔵先	典拠資料
	子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥本鉄	長岡鉄之助	黒	陽	円形	絵本金花夕映	国文研, W	国文学研究資料館館蔵和古書目録データベース
	子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥本鉄	長岡鉄之助	黒	陽	円形	絵本魁草紙	国文研, W	国文学研究資料館館蔵和古書目録データベース
	子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥本鉄	長岡鉄之助	黒	陽	円形	裕妻雪古手屋 前後編	松永文庫	個人蔵 (松永瑠成)

練習問題④

書 ？
室 出
記 氏

(右) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より



F. 国文学研究資料館学術情報リポジトリの「蔵書印データベース」 「篆字部首検索システム」を活用する

「蔵書印データベース」

(<http://id.nii.ac.jp/1283/00004650/>)

「篆字部首検索システム」

(<http://id.nii.ac.jp/1283/00004720/>)

- 前者の「蔵書印データベース」では、国文学研究資料館が所蔵する資料をもとに作成されたデータのみ公開

The screenshot shows the website interface for the National Institute of Japanese Literature Repository. At the top, there is a banner with the text '大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館学術情報リポジトリ National Institute of Japanese Literature Repository'. Below the banner, the breadcrumb trail reads '国文学研究資料館 > 学術情報リポジトリ'. The main content area is titled 'WEKO' and includes a search bar with the text '入力後、Enterキーを押下し' and buttons for '検索' and '詳細検索'. There are radio buttons for '全文' (selected) and 'キーワード'. On the left, there is a 'インデックスツリー' (Index List) with a tree structure including '研究データ / 蔵書印データベース'. The main search results area shows 'アイテムリスト' (Item List) with '1 - 2 of 2 results.' and a table of results. The first result is '蔵書印データベース' with a list of identifiers: aota,sumi, aota, sumi, aota,sumi, aota, sumi. The second result is '篆字部首検索システム' with the identifier '篆字部首検索システム 青田, 寿美, 永崎, 研宣'. On the right side, there is a 'Menu' section with links for 'トップページ', 'Top Page', '過去のお知らせ', and 'Information'. The 'Information' section contains links for '運用指針 (2024.4.24 改).pdf' and 'リポジトリ登録許諾書様式 (2021.12.22 改).docx'. The 'お知らせ' (Notice) section contains a link for '2024年6月17日' and text about the release of a new issue of the journal '国文研ニュース'.

(右) 国文学研究資料館学術情報リポジトリ

G. 人文情報学研究所の「蔵書印ツールコレクション」を活用する

「蔵書印データベース検索システム」
(<https://seal.dhii.jp/sealdb/>)

「篆字部首検索システム」
(<https://seal.dhii.jp/char/>)

「篆字画像検索システム (AI篆字認識)」
(<https://seal.dhii.jp/image/>)

- かつて公開されていた国文学研究資料館の「蔵書印データベース」「篆字部首検索システム」を継承

(右) 蔵書印ツールコレクション

蔵書印ツールコレクション

画像検索 部首検索 データベース検索

篆字画像検索
(AI篆字認識)
画像から篆字を検索します
試してみる

篆字部首検索
漢字の部首などから篆字を検索します
試してみる

蔵書印データベース
検索
印文などから蔵書印データベースを検索
します
試してみる

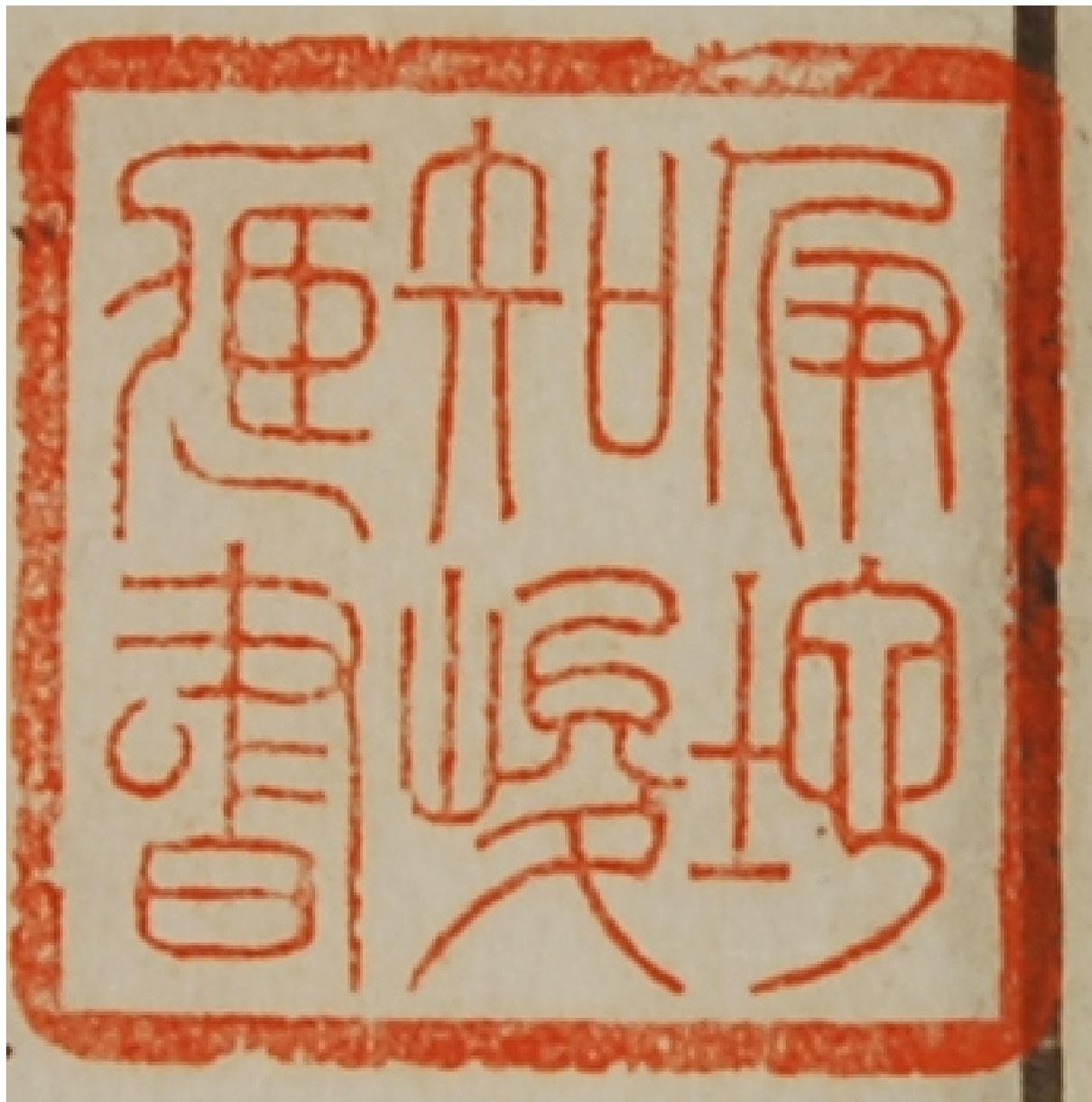
一般財団法人
人文情報学研究所
International Institute for
Digital Humanities

ヘルプ
画像検索の使い方
データベース検索の使い方

このサイトについて
このサイトについて
謝辞
お知らせ

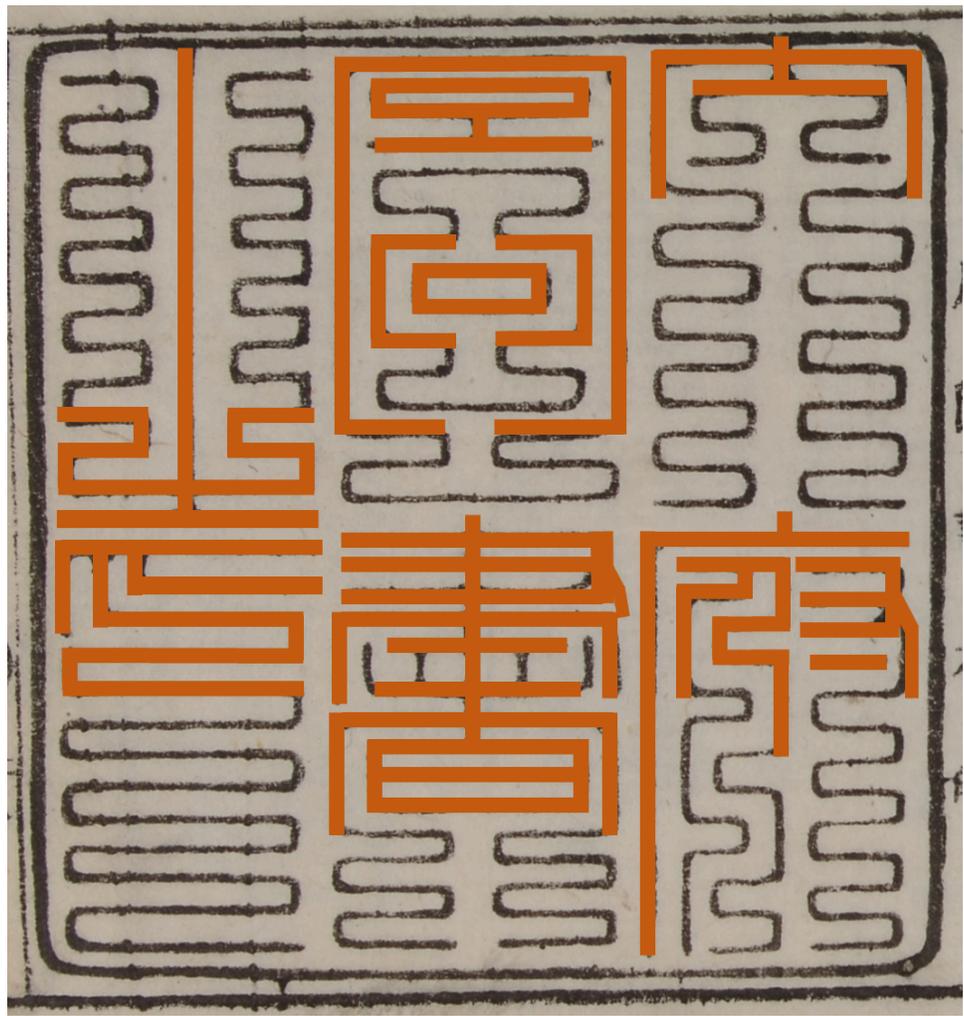
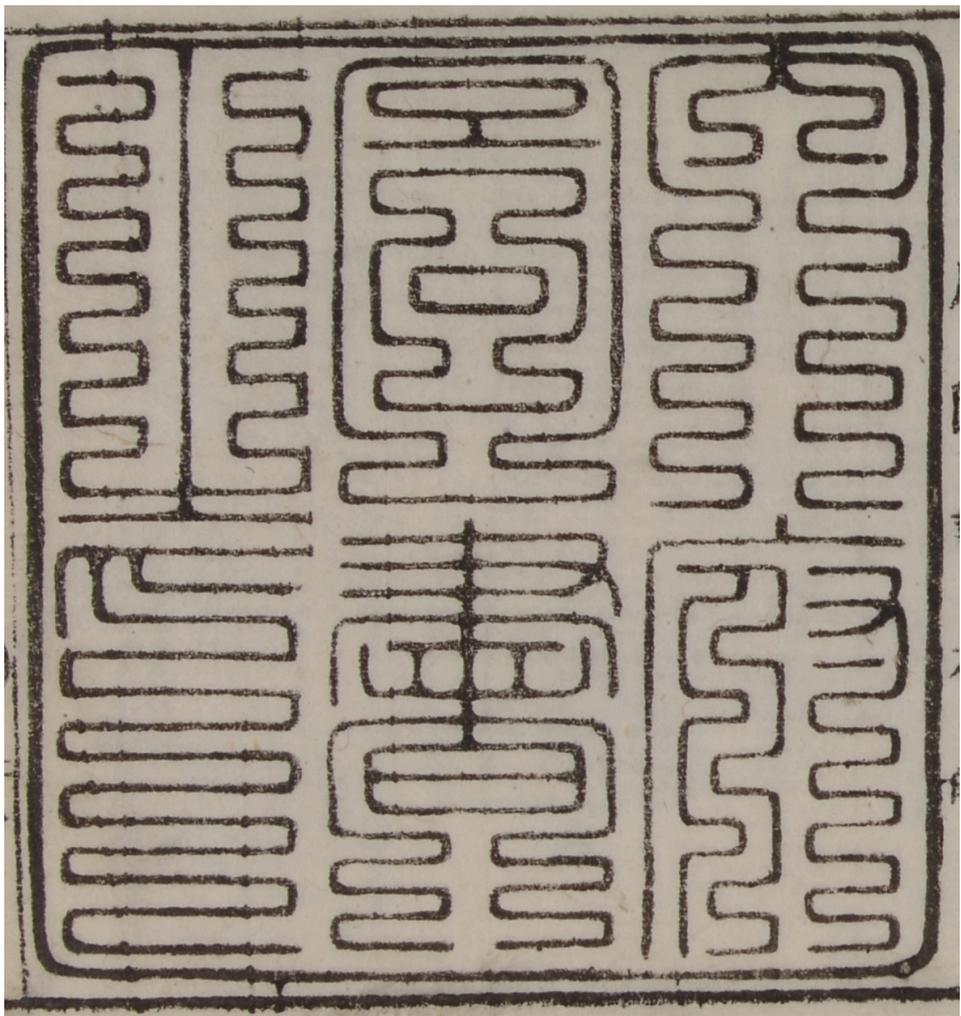
練習問題⑤

蔵 知 伊
書 ？ 地



(右) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索」より

くじょうてん
【参考】九疊篆の印



(左) 人文情報学研究所「蔵書印データベース検索より」

「「読めない」は、あっても
「読まない」は、ナシで！」 注

[注] 第19回古典籍講習会（2021年度）における青田寿美氏「【講義5】蔵書印について—篆書の読み方」より